

中国の旅(二)ぼれ話(三)



中国人の気質

高崎壽郎

かってNHKで放映された「大地の子」や「乳泉村の子」にみられるような、中国残留孤児に対する家族の親身に勝る接し方は感動的で、中国人の懐の広さ深さをつくづく感じる。これは国境を越えた人間愛であって、果たしてあのような戦後の動乱の状況下(中国では、日本人は鬼、その子どもは鬼の子といわれ嫌われた)で、私達日本人も同じことができたのだろうか。戦後五十年を経た今も、肉親をさがしに来日する中国残留孤児のニュースを耳にする度、戦争のむごさ、悲惨さ、むなしさを再認識すると共に、我が子同様に愛情を込めて養育してくれた中国の人々に感謝の気持ちで一杯になる。

さて、中国と比べ物的環境や生活状態は、今の日本が数段進んでいるようだが、人間として

知悉 養賢 石井 文雄

黄金色の稲穂が輝く候となつて参りました。深町のみなさまには平素学園に対して深いご理解とご援助をいただき感謝を申しあげております。

とくに八月、野球部の甲子園初出場時には、深町のみなさま方より多額のご高志をいただき、その上、幼小を含め町内あげての心こもった素晴らしい壮行式をしていただき選手一同感激をいたしました。

有難うございました。結果はご承知の様なことですが、私達はこの機会を生かし、スポーツのみではなく、勉学・文化・技術・ボランティア活動など総ての面で更に飛躍をして、地元の方に喜んでいただける学校づくりをして参りたいと考えております。どうか今後ともお見守りくださり、変わりなきご支援をいただけますようお願い申し上げます。

出場選手の一言

背番号・氏名・体験の一言

- 1. 洲上 旭
今まで野球をやってきて本当によかった。後輩たちには甲子園でぜひ校歌を歌ってほしい。
- 2. 下迫将也
最後の夏にとてもいい思い出ができた。次は新たな目標に向かって頑張っていきたい。

甲子園夏の大会に出場して

- 3. 酒井 勲
今年の夏、最高の友と最高の場所、最高の思い出がつくれた。
- 4. 猪木 豊
素晴らしい部長や監督に恵まれ、高校生活最後の夏にあこがれの甲子園という最高の思い出ができた。
- 5. 松浦孝祐
「広かった甲子園」今度は自分の力で甲子園での一勝を仲間達とつかみたい。
- 6. 三沢克典
「甲子園」という大舞台で、みんなとプレーができて素晴らしい夏になった。
- 7. 塩川卓也
つかみとった甲子園に、みんなと行けて最高の思い出となった。
- 8. 内平慎一
甲子園にもっと長くいたかった。
- 9. 石井雅之
また一つ、自分自身が成長したのを感じる。有難う甲子園。
- 10. 小町裕貴
先輩達に大きな財産を残してもらった。次は、私達で甲子園で先ず一勝。
- 11. 徳田 乾
先輩方につれていってもらった甲子園。次は自分達の手で。
- 12. 奥永真行
最後の夏に甲子園という最高の思い出ができた。後輩達はぜひ甲子園で勝ってほしい。
- 13. 崎浜伸広
「甲子園」という場所で、勝敗よりも大事なものを見つれることができました。
- 14. 岡崎隆行
甲子園でプレーしたこと、を一生の宝物にしたい。
- 15. 住吉佑一
最後の夏に甲子園で試合

の寛大さ、心のゆとりや大らかなさ、忍耐力、逞しさ、実直さなどはむしろ逆転しているように思える。例えば、混然とした交通状況下でも、トラブルことなく泰然と振る人達。群をなす人達の他人を見る眼差し、のやさしさ。「ニイハオ」(こんにちは)と声をかけると、にこやかに返ってくる。「ニイハオ」には心洗われる。中国人のこのような気質は、悠久の歴史と広い大陸、気候、風土の内に培われてきたものと考えられる。我が国と中国の関係は古い。大昔から、漢字をはじめ多くの文化を受けた恩ある国であるが、私達は中国のことを余り知らない。近くて遠い国である。この旅を機会に、私はアジアの国々へもっと関心を持って生きていきたい。

深町には、公園など、子どもたちを遊ばせる場所がないため、子どもにも母親にも、友達をつくる場所がありませんでした。私達も、始めは小学校のブランコやスベリ台などで、子ども達を遊ばせて頂いたりしていましたが、人数が増えたと賑やかになり授業の妨げにもなるかなと、と、思い、そこで遊んでいた人達と車を乗り合わせて尾道や御調の公園などへお弁当を持って遊びに行ったりもしました。しかし、外で遊ぶのにも辛いものがある。曜日を決めて町内の「町民会館」を利用して頂く事にしました。町民会館の二階は広く、子ども達が遊ぶには最高の場所になりました。ここには遊具はありませんが、それぞれおもちゃを持ち寄り、手作りの積木やボールをして、乗って遊べるほどのダンボール箱等、子ども達は何にでも反応して楽しんでいました。子ども達も決まった行き場ができ、喜ぶ子もおりましたし、母親達もそこで子ども達を見ながら、他の母親達と仲良くする機会を持てた事を喜んでおりました。

母と子の遊び場を求めて

上組 小林千穂

三ッほ

遊び場のない深町で、町内の母子が楽しく過ごせる場所を提供して下さり、本当にありがとうございました。ここに集まった人達は町内の数ヶ月から、四歳ぐらいの子どもと、母親でしたので春になると幼稚園や保育所に進む子ども達ができ、人数が減るといふ事と、暖かくなるにつれ子ども達の気持ちがいよいよ外へ向きはじめた。この事から、一旦折角楽しい時を過ごさせていたのに、淋しい気持ちもありませんが、それが新しい春を迎えるという事を喜び、またこういう機会を持ちたいと思っています。さて、暑い夏が過ぎ、おだやかな秋がやってきました。これから公園などをまわって遊ぶのにとっても良い季節です。我が家には、まだ幼稚園へも行けず持て余している子がもう一人残っています。近くに小さい子がいないか、一緒に遊ばせる子がほしいな。一緒に遊ばれる方、一緒に遊んでみませんか？



春夏・秋・冬、ふるさと 無名子

秋祭りのお知らせ

干川社賛会

本年も、五穀豊穣・家内安全を祝って、左記の通り秋祭りを開催致しますのでおさそいあわせご参詣下さいませようご案内致します。

記

- 一、日時 十月一八(土) 午後六時
- 二、場所 干川神社
- 三、内容 祭典と演芸大会



16. 村岡直樹
甲子園は最高の場所。何かのあたりでもう一度プレーをしてみたい。

マナーシヤ 岡田福司
深町の方のご声援がうれしかった。みんなの力で行った甲子園。最高の「思い出と友」をありがとう。

生活の狭間で

梶谷マサヨ

- 一、夕空晴れて秋風吹き 月影おちて鈴蟲鳴く 思へば遠し故郷の空 あ、我が父母いかにおわす
- 二、澄みゆく水に秋は来たれ 玉なすつゆはすすきに満つ 思えば似たり故郷のべ あ、我がはらから誰と遊ぶ
- 数々の盆提灯をかざられし まわる灯笼浄土へ誘う
- 外孫のハワイイでする結婚式 遠き地に祈るしあわせを
- 日に病の進むその中で 笑顔を示すかつての教へ子
- 畑より帰りし我を ねざらいしに ただ空蟬のささやきの声 きこゆのみ
- 仏前の花かえし時すがすがし 佛もよろこび我もよろこぶ